

図書館だより

平成25年
9月11日(水)
姫島中学校
図書文化部
9月号



2学期が始まりました



今年の夏は、とても暑かったですね。夏休み中は、行事もたくさんありました。学校の大規模改修工事にかかわって、学習相談や「ふるさと教室」が、旧小学校校舎や小学校の体育館を借りて行われるなど不便な状況もありました。

先週から2学期が始まりましたが、工事はまだ続いているので、不便な状況が続いています。特に、図書館が使えないので、夏休み前に貸出した本の返却や新しい貸出ができません。もう少し待って下さいね。しばらくは学級文庫も設置できないので、モーニング読書の時間に読む本を自分で用意して下さい。読書貯金通帳の取り組みは継続できます。朝、図書文化部員が配りますので、各自で読んだページ数を記入し、箱の中に入れて下さい。

体育大会練習、駅伝練習、1・2年生は新人戦に向けての部活と、ハードな日程になります。日中は残暑が厳しいですが、朝夕は涼しくなりました。体調管理に努めましょう。

にひゃくとおか

「二百十日」

今日、9月11日は「二百十日」です。「二百十日」とは、立春から数えて210日目の日のことです。例年9月1日ごろにあたり、台風が来ることが多いと言われていました。台風のことを、古い詩的な言い方で、「野分(のわき・のわけ)」と言います。

今回は、詩を紹介します。

ある日ある時

黒田三郎

秋の空が青く美しいという
ただそれだけで
何かしらいいことがありそうな気のする
そんなときははないか
空高く噴き上げては
むなしく地に落ちる噴水の水も
わびしく梢^{こずえ}をはなれる一枚の落ち葉さえ
何かしら喜びに踊っているように見える
そんなときが

